

介護保険料の取り過ぎに怒り広がる

大谷としあき、ひぐま知重の両氏は26日、街頭から当選の報告と公約実現へ決意を訴えました。とりわけ、小中学校の給食費無料と介護保険料の引き下げに取り組みことを強調しました。

大谷、ひぐまの両氏は、選挙の中で市民の暮らしを良くする党議員団の実績・値打ちを訴え、子育て支援3つのゼロ(子どもの国保税0円、給食費0円、子どもの医療費18歳まで0円)と高齢者の2つの安心(介護保険料の引き下げ、補聴器購入の補助)の公約を語り

ぬぎました。

有権者の中に、子育て支援への期待と介護保険料の取り過ぎに怒り広がり、ひとり落ちの激戦を制して現有2議席を守りました。得票数は左上の表のとおりです。3人の候補者を立てた前回の合計からは減りましたが、昨年の参院比例票の1・4倍を獲得しました。

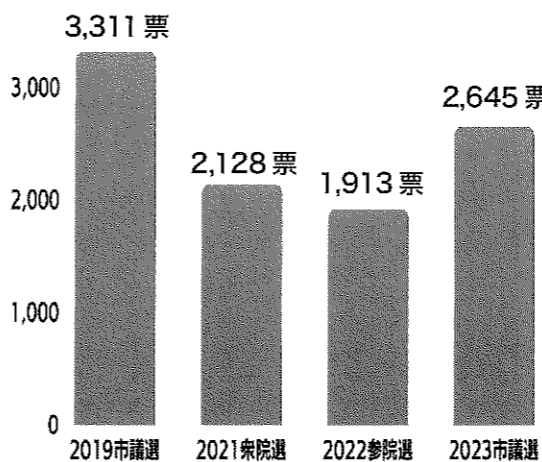
公約実現へ決意を訴える



▲当選の報告と決意を訴える大谷、ひぐま両氏

	今回2023年	前回2019年
大谷としあき	1,363	1,229
ひぐま知重	1,282	1,155
合計	2,645	3,311

(注) 前回2019年は3人の党候補者の合計



(注) 2021衆院選と2022参院選は党比例票

仁比氏が豪雨対策を要求



▲質問する仁比聡平議員

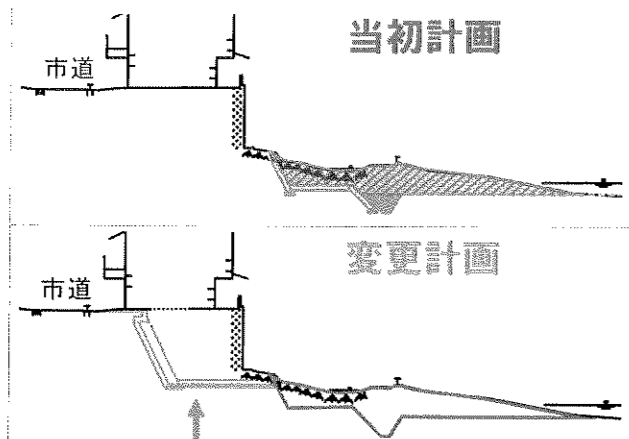
日本共産党の仁比聡平(にひそうへい)議員は14日、参院災害対策特別委員会で、2020年豪雨災害からの復興について質問しました。

被災者に寄りそう補償を求める

天ヶ瀬温泉旅館街では、なりわい再建補助金も活用して再建された旅館やつり橋が、川幅を広げる改修事業のための移転を迫られています(下図のとおり)。仁比氏は「被災者に寄りそった十分な補償を」と要求。国土交通省の岡村次郎水管理・国土保全局長は「国交省としても、しっかり支援していきたい」と述べました。

仁比氏が、頻繁な内水被害に見舞われてきた日田市の排水対策のために国の支援を求めたのに対し、岡村局長は「下水道整備計画の作成中と聞いている。(国は)交付金で支援する。よく相談し、技術的な支援も行いたい」と答弁しました。

仁比氏は、花月川の改修にともなう御幸橋、一新橋の改築について



▲温泉源への影響を最小限にするため、岩盤河床の削減をやめて、護岸を市道側に引く(玖珠川河川改修計画)

て「観光シーズンの交通量や人の流れも踏まえて、仮橋を」と主張。岡村局長は「仮橋の設置を含め検討中だ」と答えました。